

→ 十字架にかかる直前のメッセージ 【マタイ 24章】

- ✓ 世の終わりの現象【福音が世界中に伝えられ、終わりが来る】
- ✓ 弟子達に対する警告【目を覚ましていなさい、主人はいつ帰ってくるかわからない】
- ✓ 世の終わりに生きる弟子達のたとえ
 - 1) 二人のしもべのたとえ：忠実なしもべと悪いおろかなしもべ【マタイ 24】
 - 良いしもべ：主人が帰ってくるまで与えられた仕事をした「食事をきちんと給仕した」
 - 悪いしもべ主人はまだ帰ってこないと思い、仕事をないがしろにした。

2) 10人の乙女のたとえ【マタイ 25章 1～13】

マタイ 25:1 そこで、天の御国は、たとえて言えば、それぞれがともしびを持って、花婿を出迎える十人の娘のようです。2 そのうち五人は愚かで、五人は賢かった。3 愚かな娘たちは、ともしびは持っていたが、油を用意しておかなかった。4 賢い娘たちは、自分のともしびといっしょに、入れ物に油を入れて持っていた。5 花婿が来るのが遅れたので、みな、うとうととして眠り始めた。6 ところが、夜中になって、『そら、花婿だ。迎えに出よ。』と叫ぶ声がした。7 娘たちは、みな起きて、自分のともしびを整えた。8 ところが愚かな娘たちは、賢い娘たちに言った。『油を少し私たちに分けてください。私たちのともしびは消えそうです。』9 しかし、賢い娘たちは答えて言った。『いいえ、あなたがたに分けてあげるにはどうも足りません。それよりも店に行って、自分のをお買いなさい。』10 そこで、買いに行くと、その間に花婿が来た。用意のできていた娘たちは、彼といっしょに婚礼の祝宴に行き、戸がしめられた。11 そのあとで、ほかの娘たちも来て、『ご主人さま、ご主人さま。あけてください。』と言った。12 しかし、彼は答えて、『確かなところ、私はあなたがたを知りません。』と言った。13 だから、目をさましていなさい。あなたがたは、その日、その時を知らないからです。

ユダヤの結婚のしきたり

1. 婚約式を花婿の家で行う。
2. 婚礼の祝宴を行って共に暮らす【一年後】夕方花婿は、友人と共に花嫁を迎えに行く。花婿は花嫁を迎え、花嫁の友人のブライドメイドと共に婚礼の祝宴会場へ向かう。

➤ 10人の乙女

1. 全員が花婿を待っていた
2. 全員がともしびを持っていた
3. 全員がうとうと眠り始めた【花婿が遅れて真夜中になったので】
4. 真夜中に花婿が帰って来た。
 - 1) 賢い娘は、予備の油を準備していた
花婿が来たとき、いっしょに婚礼の祝宴に行った
 - 2) 愚かな娘は、予備の油を準備していなかった
油を持っていた賢い娘に油を分けてもらおうとしたけれども断られた。
油を買いに行って、婚礼会場に行ったけれども遅かった。
「確かなところ、私はあなたがたを知りません」と言われて入れなかった

➤ 何が、「賢い」と「おろか」を分けたのでしょうか「予備の油」＝「聖霊様」

◇ 聖霊に導かれる信仰生活か否か

- ✓ 賢い娘の信仰生活
聖霊様を求め、聖霊様に満たされて生活していた
神様の御言葉の知識を蓄えていた。神の知恵により「賢い」人生
花婿の帰りを毎日準備して待っていた。
- ✓ 愚かな娘の信仰生活
花婿の帰りを同じように待っていた。
聖霊様よりも、人に頼る【油が切れたら他の人に分けてもらえばいい】
御言葉よりも、自分で解釈する【だいたい花婿は夜に来るから油は大丈夫だろう】

- イエス様の御言葉：「目をさましていなさい、あなたがたはその日、その時を知らないからです」
霊的に目を覚まして、毎日イエス様の再臨を待ち望む信仰生活を送る

→ 賢い娘の信仰生活： 聖霊に満たされて、聖霊様に導かれて、神様の御心を行う

- 聖霊様が神様の御心を知らせて下さる

ヨハ 16:13 しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くままを話し、また、やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。

- 神様の御心を行うクリスチャン;御霊に満たされて、歩むクリスチャン人生

マタイ 7:21 わたしに向かって、『主よ、主よ。』と言う者がみな天の御国にはいるのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行なう者がはいるのです。22 その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行なったではありませんか。』23 しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』

- 再臨の時、霊とたましい、体が完全に守られるために、

Iテサロニケ 5:14 兄弟たち。あなたがたに勧告します。気ままな者を戒め、小心な者を励まし、弱い者を助け、すべての人に対して寛容でありなさい。15 だれも悪をもって悪に報いないように気をつけ、お互いの間で、またすべての人に対して、いつも善を行なうよう務めなさい。16 いつも喜んでいなさい。17 絶えず祈りなさい。18 すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。19 御霊を消してはなりません。20 預言をないがしろにははいけません。21 すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りなさい。22 悪はどんな悪でも避けなさい。23 平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだを完全に守られますように。

- 1) 気ままな者を戒め、小心な者を励まし、弱い者を助け、全ての人に対して寛容でありなさい。
- 2) 悪をもって悪に報いない。いつも善を求めて行う
- 3) いつも喜ぶ。
- 4) 絶えず祈る
- 5) すべての事について、感謝する
- 6) 聖霊様を求める生活：預言をないがしろにしない。
- 7) 悪を避ける。
- 8) イエス様の再臨を毎日待ち望む。イエス様に出会う準備をする。心と魂と体の聖め

- 他の兄弟姉妹に対する態度
 1. 自分だけでなく周りのクリスチャンに気を配り、信仰の助けをする
 2. 信仰が弱っている人に対しては、戒め、励まし、助けてあげる。裁かないで寛容な心で接する
- 世の中の人々に対する態度
 1. 悪に対して、悪で報いない。悪の世の中において善を求めて、キリストを証する。
 2. 悪を避ける。けんかをしたり、争ったり、中傷、陰口、憎しみを避ける。
- 霊的態度
 1. 信仰の態度：いつも喜び、全てに感謝する信仰を持つ
 2. 祈りの態度：絶えず祈る。自分の力ではなく主に頼る。御霊で祈る
 3. 御言葉を蓄える：自分勝手な考えや世の知恵ではなく、神の知恵に満たされる
 4. 聖霊様を求める態度：御霊に導かれて歩む。預言を大切にする。
 5. イエス様の再臨を求める毎日。【マラナタ！】

私達はみな10人の乙女です。賢い、おろかなクリスチャンを分けるのは、「聖霊様」です。

- 貴方の人生に「聖霊様」の油が満たされていますか。
- 毎日「聖霊」の満たしが必要です。
- 聖霊様によって与えられた「御言葉の知恵」に満たされましょう。自分の思い世の考えでなくて。